【タイトル】
小学校理科新学習指導要領

【著者】 小佐野正樹　佐々木仁
高橋洋　長江真也

2017年8月15日発行
本の泉社
定価本体1,700+税

第1章「新学習指導要領で小学校理科は何が変わるか」では、今回の改定内容を概観し、どんな問題があるか述べた、第2章「各学年の内容は何が変わるか　どうするか」は3年から6年までの個々の内容を検討しどんな問題があるか、合わせてそれぞれの内容で大切にしたいことを述べた。・・(略)・・そこでの問題点は何か、それに対して私たちはどう考えて授業をつくったらよいかを具体的に考えることが大切と考え、このような内容にした。各学年の終わりに「学習展開プラン」の例を載せたのも、私たちの考える授業の具体的なイメージを伝えたいという思いからである。
第3章「教科目標『指導計画の作成と内容の取扱い』について」は、新学習指導要領の最初に書かれている理科の教科目標と最後の「指導計画の作成と内容の取扱い」を分析したものである。
第4章は資料として「小学校理科・現行学習指導要領と新学習指導要領との比較」と「小学校理科の新学習指導要領と私たちの教育課程試案の対照表を載せた。(はじめにより)

【タイトル】
半径5メートルからの教育社会学

【著者】 片山悠樹・内田良・
吉田和久・牧野智和

2017年9月15日発行
大月書店
定価本体2,200+税

第Ⅰ部「大学生になる」ことを社会の観点から考える
第1章　学力の獲得は平等なのか?
第2章　高等教育への進学とジェンダー
第3章　高学歴社会における教育機会と費用負担
第Ⅱ部「学校に通う」ことは当たり前か?
第4章　学校に「行っていない」子どもたち
第5章　貧困世帯の子どもたち
第6章　学校の外で学ぶ子どもたち
第Ⅲ部　教育のなかの「正しさ」を疑う
第7章　「英語は全員が学ぶもの」という自明性を疑う
第8章　部活動は学校において合理的な活動か?
第9章　子どもの安心・安全を脅かす「教育」
第Ⅳ部　若者をとりまく「空気」を読み解く
第10章　教育から職業への移行と就職活動
第11章　「いじめ」問題がつくる視覚と死角
第12章　少年犯罪についての認識とメディア

【タイトル】
地域を生きる子どもと教師

【編者】中野譲

2017年8月20日発行
高文研
定価本体1,900+税

1部　学びの扉をひらく
1.子どもさんかが私の実践を変える
2部　子どもの夢をのせた学びの始まり
1.われら2の1やさい探偵団
2.子どもたちってどんな学びを求めているの
3部　地域、川と語り合い続ける子どもたち
1.川の学び(1)ー川との語り合い
2.川の学び(1)ー10年後の卒業生の言葉
4部　失われた関係と学びを取り戻す
1.緊張した女子の関係をひらく対話
2.川の学び(2)ー飛ばない鳥たち
5部　荒れ地を耕し、種をまく
1.荒くれどもと学びを創る
2.あたり前の生活をつくる

【タイトル】
映画で見なおす同時代史

【著者】梅野正信

2017年8月25日発行
静岡学術出版
定価本体700+税

一　戦争と人間(日本)
二　カティンの森(ポーランド)
三　黄色い星の子供館(フランス)
四　愛と悲しみのボレロ(フランス)
五　白バラの祈り　ゾフィー・ショル。最後の日々(ドイツ)
六　ひめゆりの塔(日本)
七　悲情城市(台湾)
八　ブラザーフッド(韓国)
九　おじいさんと草原の小学校(ケニア)
一〇　君の涙ドナウに流れ(ハンガリー)
一一　夕凪の街　桜の国(日本)
一二　さらば、わが愛　覇王別姫(中国)
一三　ブラディ・サンデー(北アイルランド)
一四　光州5・18(韓国)
一五　ホテル・ルワンダ(ルワンダ

【タイトル】
ヒロのちつじょ

【著者】 佐藤 美紗代

2016年6月30日発行
太郎次郎社エディタス
定価本体1,400+税

彼には、ちょっと変わった癖やこだわりがある。
そこには彼の世界がつまっている。
その無数のこだわりのなかに、ヒロの「秩序」があるのだ。
ダウン症の兄・ヒロの日常を大学生の妹が淡々と描きだす。
距離をつめない愛がこぼれる観察的イラストエッセイ。
返事があるまで「おはよ」を連呼。
夏でも毛布と冬布団で眠る。
カレーはルーから平らげる。
体をゆらゆらさせるのが好き。
鏡を見るのが大きらい。
Tシャツの裾はパンツにイン。
車中では変顔しつづける。
おやすみのまえはかならずハイタッチ・

【タイトル】
興隆の旅

【著者】 中国・山地の人々と
交流する会

2017年7月3日発行
花伝社
定価本体1,600+税

Ⅰ　三光の現実に衝撃を受けた第1回の旅
Ⅱ　古老の本音に出会った　第2回の旅
Ⅲ　無人区で抵抗した人々に出会った　第3回の旅
Ⅳ　子どもが生きられない時代を知った度
　(1)抗日戦争最前線を訪ねて第4回の旅　第5回の旅
　(2)長城南の無人区の惨劇
　(3)中国の要人に会う(黄華/陳平/季運昌)
Ⅴ　深まる理解　広がる交流
　(1)日中戦争の諸相を知った第6回の旅
　(2)空白を埋めた　第7回の旅
Ⅵ　締めくくりと新しい交流の模索
　第8回～第11回の旅

【タイトル】
教育の良心を生きた教師
ー三島孚滋雄の軌跡

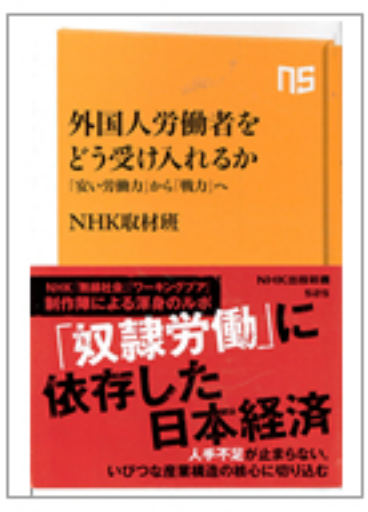
【編者】田中 武雄・春日 辰夫

2017年7月18日発行
本の泉社
定価本体1,500+税

1、幼少期を寺で育つ
2、社会主義思想に傾倒する青年時代
3、教師として東北に旅立ち、さらに北海道にわたる
4、三島孚滋雄の戦後、名寄中・高校長時台
5、深川高校長時台の三島孚滋雄
6、宮城県白石中学校への転任
7、全校で映画「ひろしま」を鑑賞
8、実務学校の特設と能力別学級
9、焼けた学校
10、「河童通信」の発行
11、三島と平和運動
12、高校「教諭」としての転出
13、高校「漢文教師」として出発する
14、退職後の三島孚滋雄

【タイトル】
外国人労働者をどう受け入れるか

【著者】NHK取材班



2017年8月10日発行
NHK出版
定価本体780+税

第一章　最下層労働者たちの実態
1　「使い捨て」の実態
2　人権を無視した「奴隷制度」
3　国際社会からの糾弾
第二章　外国人受け入れの建前と矛盾
1　技能実習制度の矛盾
2　変貌する「外国人労働」の現場
3　アジア人材争奪戦における日本
4　人手不足を補う実習生
第三章　「共生」社会を目指して
1　見直される外国人受け入れの指針
2　新しい"格差"ー多重格差社会
3　外国人と「共に暮らす」社会へ

【タイトル】
他者ありて私は誰かの他者になる

【著者】 折出　健二

2016年7月20日発行
ほっとブックス新栄
定価本体1,200+税

Ⅰ自分を信じて生きていく社会にするには
Ⅱ　社会参加のスタート地点
Ⅲ　<自立する>ための足場とは何か
Ⅳ　いじめ問題からみえてくる子どもたちの世界
～おとなにできることは何か～
Ⅴ　生活と学問の結び目とアザーリング
～私の大学時代の経験から～
Ⅵ　大学は今どう変わろうとしているのか
終章　アザーリングのすすめ

【タイトル】
子どものやる気を引き出す
7つのしつもん

【著者】 藤代　圭一

2017年4月28日発行
旬報社
定価本体1,300+税

第1章　"しつもん"ですべてが動き出す
第2章　しつもんで変わるこどもたち
第3章　子どもがやる気になるしつもん
第4章　子どもの良いところを引き出すしつもん
第5章　子どもの成長を促すしつもん
第6章　親が変われば子どもは変わる
第7章　なりたい自分になる"みらいしつもん"

【タイトル】
現場の視点で新要領・指針を考えあう

【編者】大宮勇夫・川田学・
近藤幹生・島田一男

2017年6月20日発行
ひとなる書房
定価本体1,300+税

1章　新要領・指針の全体像と改訂の背景をつかむ
2章　新要領・指針をどう読み、どう実践するか①
いま求められる子ども理解と保育づくり
3章　新要領・指針をどう読み、どう実践するか②
保育の質を高める計画・評価と同僚性
4章　新要領・指針をどう読み、どう実践するか③
すべての子どもの幸せをめざす新たなチャレンジ

【タイトル】
保育現場に日の丸・君が代は必要か?

【著者】 中西　新太郎

2017年6月20日発行
日となる書房
定価本体700+税

1　保育の場で君が代を歌わなければならないの?
2　日の丸・君が代をめぐって学校現場で起きたこと
3　国旗や国歌のはたらきってなんだろう?
4　幼児が育つ場で日の丸を掲げ、君が代」を歌わせるのはどんな教育たろうか?
5　幼児が育つ場としてふさわしい環境とは何かという視点から考えてみる
6　国はなぜいま日の丸・君が代を保育現場に持ちこもうとしているのか

【タイトル】
リアル世界をあきらめない

【制作者】時代をつくる文化ラボ

2016年11月5日発行
はるか書房
定価本体1,600+税

幻想を噛いとばし、現実世界をあきらめない
第1章　自由のラプソディ
第2章　民主主義のアンチエイジング
第3章　生活世界のアクチュアリティ
第4章　環境へのマニフェスト
ちょっとわき道　ワキペディア　背の中を斜めから読み解く48のキーワード

【タイトル】
楽しもう家政学

【編著者】家政学のじかん」
編集委員

2017年4月1日発行
開隆堂
定価本体1,500+税

序章　生活は万物の基礎である
第1章　胎児の命は誰のものか
第2章　大切な人を失う
第3章　互いに納得できる高齢期の生活
第4章　高齢者が地域で暮らすということ
第5章　遊びのスローライフ
第6章　食べるカタチと「Co・食」の場
第7章　人によって変わる衣服のはたらき
第8章　「おふくろの味」と子育て
第9章　住まいの権利を考えよう
第10章　障がい者が地域で暮らすということ
第11章　今こそ家庭科!ー「生活」することの意味を問うー

【タイトル】
緊急出版　どうなる日本の教員養成

【編集】 日本教師教育学会

2017年4月20日発行
学文社
定価本体1,400+税

1　企画の趣旨
2　公開シンポジウム
　中教審答申で教師教育はどう変わるか?
3　シンポジウムの総括
4　関連資料　中教審答申第184号
5　関連年譜　教員養成大学・学部の沿革(戦後の主要事項)

【タイトル】
希望の教育実践

【著者】 岸本清明

2017年5月20日発行
同時代社
定価本体2,000+税

序章　私の環境学習の舞台
第1章　東条川学習の始まり
第2章　東条川学習の誕生まで
　ー岸本清明・安藤聡彦との対話から
第3章　東条川学習の発展
第4章　小規模へき地域での実践
第5章　環境学習の何が大切なのか
第6章　環境学習をどう作るか